

## 入学前学習の取組 ～国語課題を中心として～

番匠明美 三木麻子

BANSHO Akemi・MIKI Asako

入学前教育に対する本学での目的は不足学力を補うことよりも、入学者の不安を和らげ、短期大学での学びに繋がる興味を広げるように、自ら選択した分野で課題に取り組むことにある。本稿はおもに国語課題の立場からその実践と今後の課題について検討し、入学前学習に関する実践報告とするものである。

キーワード：入学前教育、絵本、国語、図書館

### 1. はじめに

本学では2011年度より入学予定者に対し、4月の入学時までに行うプレ学習を課している。この取り組みを始める以前にも実技系3分野(音楽・図工・体育)から4月の入学に向け、心掛けておいてもらいたいことを「児童教育学科入学予定者の皆さんへ」というお知らせとして配布することは行っていた。しかしながら、2011年度より専攻科を廃止し、2年間で3つの資格免許(保育士資格・幼稚園二種免許・小学校二種免許)を取得する制度に変更し、これまでの短大の過密なスケジュールがより過重となったこともあり、入学後の学びをよりスムーズに始めるためにも、このプレ学習が具体的な課題として入学予定者に課されることとなった。

また、一方で、年々入学者の基礎的な学力の低下と心の成長における未熟さが問題となり、主体的な学びへの意欲が低下していると感じられた。その背景には、自ら何かに取り組み、そこから自分なりの思い、考えをめぐらせ、自分らしい言葉でそれらを自分の中につかみ取っていくという経験の不足と、私がどう感じるかということへの自信のなさがあると思われた。

そういったことをふまえ、学科の教員間で検討を重ねた結果、基礎学力の不足は入学後も各授業で積み重ね継続して補っていく必要があり、本学では入学前学習のねらいを保育者、教育者を目指したいという熱い

思いをより明確に意識づけ、入学後の学びのイメージを持たせることを第一の目的とするに至った。そこで、卒業後に魅力ある保育者、教育者になった自分たちの姿を思い描けるように、高校、大学、社会へとつながる将来のイメージを着実に実現していけるように、彼らがその学びの始まりに安心して立てるようなプレ学習課題を提案していくことを目指す。

具体的には、全ての基本となる言葉の力を高めることを目的として国語(2011年度～)の分野、さらに本学の大きな特色である実技系3分野——音楽(2011年度～)、美術(2011年度～)、体育(2013年度～)——から課題を提供している。

まだ本学のこの取り組みは試行錯誤を繰り返しながら、始まったばかりである。そこで本稿では、まず課題の一つである国語の分野を取り上げ、検討することを通して、今後の入学前学習に関する実践的研究の一助としたい。

### 2. 方法

#### (1) 手続き

毎年2月から3月上旬にかけて、入学予定者を対象に、大学から各種の書類をまとめ送付している。その中に「入学前のプレ学習」と題して、手紙と課題内容をそれぞれA4で計2枚分に表記したものを同封した。手紙では課題に取り組む学生の主体的な姿勢を支えるため、課題ではなくプログラムという表現をとって



る。その内容は、高校生が保育者、教育者を目指して学生生活に向き合っていることとする、入学前の前向きな気持ちを入学後も忙しい短大生活の中で見失わずに進んでいてもらいたいとの教員らの願いが込められたものである。

同封した原稿用紙等に記入し、2011年度と2012年度は大学へ返送（音楽課題は来学して体験した）、2013年度と2014年度は3月末に行われる入学前健康診断に本人が来学した折りに学生ホールの所定の場所に提出させた。それぞれ担当教員が添削し、感想を添え、入学後授業の中で返却した。2014年度に配布した手紙（注1）と課題を参考資料として下記に示す。

#### 入学前のプレ学習について

冷たい風のなかにも春のきざしを感じる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。4月の入学を心待ちにされているとともに、ちょっぴり不安なところもあるのではと思います。少しでもそのような不安を取り除き、入学後のみなさんの学びがスムーズにいくように以下のようなプログラムを行うことに致しました。

輝かしい未来に、素敵な保育者、教育者になった自分の姿を思い浮かべて取り組んでください。私たちがしっかりとみなさんのサポートをします。

プログラムは裏面の4つを用意しました。この中から少なくとも1つ以上を選んでトライしてください。

#### I. 国語担当の三木先生からのプログラム

～ お薦めの「本」の紹介文を書こう ～

「選ぶ」ことは、その内容をよく知り、他と比べ、自分で好きになることです。これから共に学ぶ新入生に、あなたが読んで欲しい「本」を絵本と児童書のなかから選んで紹介しましょう（400字程度）。皆さんの選んだ本は集計してお知らせし、図書館でも読めるようにします。

#### II. 美術担当の林先生からのプログラム

～ 美術鑑賞について ～

児童教育学科での造形の科目で大切な心構えは、広い視野を持ち、さまざまなことに興味を持つということです。

自分の興味のある美術館、博物館に足を運んで、いろいろなものを間近に観るという体験をしてください。そして、その展示されたものを鑑賞した感想を400字程度の文章にして提出してください。

#### III. 音楽担当の井本先生からのプログラム

～ 音楽鑑賞について ～

好きな曲を客観的に捉え直し、それを伝えていく力を養うことが大切です。

あなたの好きな曲（ジャンルは問いません）を一曲選び、どうして好きなのか、どういうところが好きなのか、その理由を述べて下さい。曲名・作曲者名・アーティスト名、歌詞がある曲の場合は作詞者名を明記の上、400字程度にまとめてください。

#### IV. 体育担当の藤島先生からのプログラム

～ スポーツ観戦について ～

競技場での観戦及びテレビで観戦したスポーツの感想を400字程度にまとめてください。

例1. 「スポーツ観戦 サッカー『ヴィッセル神戸対ガンバ大阪』  
(ホームズスタジアム神戸)

例2. 「スポーツ観戦 フィギュアスケート」(テレビ観戦)

例3. 「スポーツ観戦 箱根駅伝」(テレビ観戦) など

#### (2) 課題内容

今年度で4年目を迎えるこの取り組みは、課題内容の見直しを経て、少しずつ変更してきた。次節で検討する国語課題以外の分野についてもこれまでの流れをとらえる意味で、ここで簡単に記しておく。

2011年度の課題は音楽と美術と国語の3分野から出題された。音楽のテーマは「保育に生かせる楽しい音楽に出会おう!!」でピアノ、その他いろいろな楽器を使用し、保育に役立つ音楽の手法を楽しく学ぶ講習会参加型になっており、3月に2回開催した。翌2012年度は、入学後のピアノ練習に対する不安を軽減するため、対象者をピアノの初心者と未経験者にしぼり、前年度と同様の形式で3月に1回開催している。

2011～2012年度の美術のテーマは「私のお気に入り絵本ベスト10」である。保育の教材として大切な絵本に興味を持って入学してもらいたいとのねらいもあり、所定の用紙に絵本を10冊リストアップし、1冊ずつコメントを添える。1回生時に立体紙芝居を制作する授業にもつながっていくものである。さらに国語の課題と合わせたリストを「読んでおくと良い絵本や紹介された書籍の一覧」として入学後に全員に配布している。

3年目の2013年度より体育が加わり、4つの分野(国語・音楽・美術・体育)から生徒が興味のある課題を選択するようになった(前出資料参照)。実技系3分野は美術鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦について、各自が体験した作品や好きな曲、観戦の内容から、感じたことを同封の原稿用紙(400字)にまとめる(2013～2014



年度)。

国語のテーマは「お薦めの「本」の紹介文を書こう」である。唯一4年間同じテーマで取り組んできた。次にこの国語の課題について詳しく検討する。

(番匠明美)

### 3. 国語の取組

#### (1) プログラム名

「子どもに関する本の紹介文を書こう」

#### (2) 課題のねらい

「国語」では教科の学習とともに、学生自身の基礎的な「読む」「聞く」「書く」「話す」という国語力を高めることを目的とする。また、保育者・教員として子どもたちの表現力を高めることができる力を学生に身につけさせたい。

国語力を伸ばすことは簡単ではないが、日常生活でさまざまな表現に触れ、教養を深め、考える力をつけることが国語力につながるだろう。言い古されたことではあるが、「本を読むこと」が、読む力、書く力の大きな助けになることはいままでもない。

児童教育学科に入学するにあたって、今まで読んだ本を振り返り、同じ志を持つ友人に勧めたい本を探す行為で、「子どもや保育者にとって良い本とはなにか」を考える契機としてもらいたいと思う。それは単に好きな本の感想を書くことよりも、より切実に本の内容を考察することになる。

#### ・学生への課題文

初年度「国語」からは入学予定者に以下の文を送った。目的が詳しく説明されていたので掲載する。

保育者・教育者を目指して実習するときも、文章を書く機会は多くあります。例えば、指導案や実習記録を書くときには、子どもたちをよく観察し、子どもたちの実態にあった指導を考えていくことが必要となり、自分の見たこと、考えたことを的確に表現することが重要です。

「国語」では、そういう表現力を養う実践を行います。まずは、優れた表現を読んでみたり、自分の好きなものを人に理解してもらったりすることからはじめましょう。

あなたが読んで感銘を受けた本や同年代の人たちにもぜひ読んでもらいたいと思う子どもに関する本について紹介文を書いて下さい。子どもたちの様子がよく描かれていると感じたものや、幼い頃からお気に入りだった本、もちろん童話や絵本でも結構です。これらについて、

同じ目的を持ってこれから一緒に学んでいく入学生に対して、あなたの言葉で紹介をし、推薦してみてください。

#### ・書誌情報について

課題は、同封した400字詰原稿用紙1枚程度にまとめるが、原稿用紙には、書名、著者名、絵の作者名、出版社、初版の日付に加え、実際に読んだ本の出版年月・版などの書籍情報を書く欄を設けてある。

将来、レポートや論文作成などには必ず参考文献の書誌情報が必要であることに結びつけたく、書誌情報が書かれる位置(奥付)に気付かせるためでもある。絵本の場合は、デザイン性が重視されるので、必ずしも最終頁に奥付が書かれるというわけではなく、それを探す経験をしてもらう意図がある。

#### ・学生からの提出

2011年 77名/112名中 (69%)

2012年 31名/60名中 (52%)

2013年 53名/110名中 (48%)

2014年 49名/129名中 (38%)

選択肢(課題)の数によって変化はあるが、例年は半数程度の学生が国語課題を選択している。2014年度の減少は課題を学生に郵送する時期が例年より遅かったという理由にも拠る。

#### ・学生へのフィードバック

学生から出された作文は、原稿用紙書式の書き方の誤りや敬体と常体の混同など文体の問題、短文の中で同様の言葉を繰り返すことを避けるというような用語の適切性、漢字の誤用などについて添削する。また、内容に関しては学生の独自の感性・発見などについて教員の感想を添えて返却する。

書誌情報については、教養ゼミや子ども学ゼミの時間に、実際にレポート作成について指導する時、入学前学習で初版の日付けや読んだ本の第○刷、第△版を書いたことを振り返る。それは、本は出版された後も、改版(校訂)されることがあり、また、刷数を重ねた本はベストセラーであることの見聞にもなること、そして、絵本の場合は親・子・孫の代に渡って長い間愛読された証でもあることが、その数字から理解できることを伝えるためである。

すなわち、自分が読んだ本がどう評価されてきたか、数字から読み取れること伝える契機とする。



同時に、個人名を伏せた推薦書リストを作成し、新入生・教員に配布する。リストは図書館にも置き、図書館では蔵書から推薦本を抽出した「新入生推薦本コーナー」を設けることを、新年度の恒例としている。

この際、所蔵のない推薦本や、そのシリーズ本があれば、それも加えて新規に購入して揃えるようにする。

ちなみに推薦本の中で新たに購入した冊数は、

2011年 記録なし／64冊中（推薦本冊数）

2012年 8冊／28冊中

2013年 10冊／51冊中

2014年 15冊／45冊中

である。



もともと1万冊に近い絵本や児童書を所蔵する本学図書館では、名作絵本はほぼ網羅されている。しかし、新しい作家や絵本について、この入学時推薦本をきっかけにその全作品・全シリーズを購入することもあり、学生の嗜好を反映させる選書に役立っている。

#### ・リストの考察

次に2011年から2014年の4年分のリストをまとめて紹介する。

\*この表の「点数」は同じ本に対する推薦数を示し、「3」とした場合は3名の推薦がある。「3-2」とした場合は、同じシリーズへの推薦数が3名分あり、そのうち同じ本への推薦が2名分あることを示す。

【表1】推薦本リスト（2011年～2014年）

点数	書名	作	絵	出版社	初版	推薦年度
9-8	ぐりとぐら	中川李枝子	大村由里子	福音館書店	1963年	2011・12・13・14
9-1	ぐりとぐらのにつき	中川李枝子	大村由里子	福音館書店	2003年	2013
7	はらぺこあおむし	エリック・カール もり ひさし訳	エリック・カール	偕成社	1976年	2011・12・13・14



図書館にきた学生が、自分の推薦した本がコーナーに並んでいるのを喜び、絵本の思い出について友人と話し合っている姿を散見している。少しでも本に親しみ、知らない本に目を向けるきっかけになればと思う。



図書館展示風景





1	あらしのよるに	木村裕一	杉井ギサブロー	毎日新聞社	2005 年	2012
1	いしになったかりゅうど	大塚勇三	赤羽末吉	福音館書店	1970 年	2011
1	いぬかって！	のぶみ	のぶみ	岩崎書店	2006 年	2012
1	いぬとわたしの10のやくそくえほん	落合恵子訳	メグ・ホソキ	リヨン社	2007 年	2011
1	いのちのまつり	草場一壽	平安座 資尚	サンマーク出版	2004 年	2011
1	いやいやえん	中川李枝子	大村由里子	福音館書店	1962 年	2012
1	ウサギとカメ	馬淵悟	山田雄大			2011
1	おおきなかぶ	内田莉莎子	佐藤忠良	福音館書店	1962 年	2014
1	おかえし	村山桂子	織茂恭子	福音館書店	1989 年	2011
1	おこりじぞう	山口 勇子	四国 五郎	金の星社	1979 年	2014
1	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川義史	長谷川義史	BL 出版	2000 年	2014
1	おいしいのぼうけん	吉田足日 田畑精一	田畑精一	童心社	1974 年	2014
1	おともだちになってね	岡本一郎	つちだよしはる	金の星社	1999 年	2011
1	おばけのてんぶら	せな けいこ	せな けいこ	ポプラ社	1976 年	2014
1	おまえうまそうだな	宮西達也	宮西達也	ポプラ社	2003 年	2011
1	おむすびころりん	いもと ようこ	いもとようこ	岩崎書店	2000 年	2011
1	かいじゅうたちのいるところ	M. センダック	M. センダック	富山房	1975 年	2012
1	かさじぞう 日本昔話より	武鹿悦子	本多豊国	フレーベル館	1996 年	2014
1	かぜのでんわ	いもとようこ	いもとようこ	金の星社	2014 年	2013
1	がまんのかーき	かがくいひろし	かがくいひろし	教育画劇	2009 年	2014
1	カレーライスはこわいぞ	角野栄子	佐々木洋子	ポプラ社	1979 年	2012
1	きたかぜとたいよう	ラ・フォンティーヌ	ブライアン・ワイルドスミス	らくだ出版	1983 年	2011
1	きみはきみだ	斎藤道雄	斎藤道雄	子どもの未来社	2010 年	2011
1	キャベツくん	長 新太	長 新太	文研社	1980 年	2013
1	くじらだ！	五味太郎	五味太郎	岩崎書店	1978 年	2011
1	くつがじまんのむかでさん	松谷みよ子	ひらやまえいぞう	童心社	1990 年	2011
1	くまくんのおともだち	E・H・ミナック 松岡享子（訳）	モーリス・センダック	福音館書店	1972 年	2011
1	グリーンマントのピーマンマン	さくらともこ	中村景児	岩崎書店	1983 年	2013
1	ぐるんぱのようちえん	西内ミナミ	堀内誠一	福音館書店	1966 年	2011
1	こねこのルナ	神沢 利子	渡辺 洋二	光明社	1978 年	2013
1	この世で一番大切な日	十川ゆかり・MinxZone		サンクチュアリ	2011 年	2011
1	コブタの気持ちもわかってよ	小泉 吉宏	奥山 敏彦	幻冬舎	2002 年	2011
1	ごんぎつね	新美南吉	いもとようこ	金の星社	2005 年	2011
1	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください	柳瀬房子	葉 祥明	難民を助ける会 自由国民社	1996 年	2012
1	さむがりやのサンタ	R. ブリッグズ	R. ブリッグズ	福音館書店	1974 年	2013





1	ふしぎなともだち	S. ジェームス 小川仁央	サイモン・ジェーム ス	評論社	1999 年	2014
1	ペネロペ ひとりでふくをきる	アン・グットマン	アン・グットマン	岩崎書店	2005 年	2011
1	ぼくにもそのあいをください	宮西達也	宮西達也	ポプラ社	2006 年	2011
1	ポットくんのおしり	真木文絵	石倉ヒロユキ	福音館書店	1998 年	2013
1	マグノリアおじさん	Q. ブレイク 谷川俊太郎	クエンティン・ブレ イク	佑学社	1984 年	2014
1	ますだくんとはじめてのせきがえ	武田美保	武田美穂	ポプラ社	1996 年	2014
1	またもりへ	M. ホール・エッツ	M. ホール・エッツ	福音館書店	1969 年	2011
1	ママの手をにぎって	わだ ことみ	大井淳子	岩崎書店	2000 年	2011
1	ミッケ! びっくりハウス I spy 2	ジーン・マルソーロ 糸井重里	ウォルター・ウィッ ク (写真)	小学館	1993 年	2013
1	むしたちのうんどうかい	得田之久	久住卓也	童心社	2001 年	2011
1	めざしのジョニー	副角 幸子	かわぐちいつこ	学習研究社	2001 年	2011
1	めっきらもつきらどおんどん	長谷川 摂子	ふりや なな	福音館書店	1985 年	2012
1	もしもし おかあさん	久保喬	いもようこ	金の星社	1979 年	2013
1	ももいろのきりん	中川李枝子	中川宗弥	福音館書店	1965 年	2014
1	ももたろう	松居直	赤羽末吉	福音館書店	1965 年	2011
1	モモちゃんのひなまつり	倉吉哲司	法島かよ	彩雛会 日本人形協会	2001 年	2013
1	もりのこどもピーター (フローラル全 25 巻)	高田敏子 ステバ ン・ザブレル	ステバン・ザブレル	学習研究社		2014
1	もりのヒーローハリーとマルタン	やなせたかし	やなせたかし	新日本出版	2005 年	2013
1	やさいのおなか	きうちかつ	きうちかつ	福音館書店	1997 年	2012
1	ゆうびんやさんのホネホネさん	西村温子	西村温子	福音館書店	1998 年	2013
1	ゆきのひのゆうびんやさん	小出淡	小出保子	福音館書店	1992 年	2013
1	ゆめのゆき	エリック・カール あおきひさこ	エリック・カール	偕成社	2002 年	2013
1	ようちえんいやや	長谷川義史	長谷川義史	童心社	2012 年	2013
1	よだかの星	宮澤賢治	赤羽末吉	フォア文庫	1984 年	2011
1	ローラのおほしさま	いずみちほこ	クラウド・バウムガード	西村書店	1997 年	2014
1	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ	スーザン・バーレイ	評論社	1986 年	2011
1	わたしがあなたを選びました。	鮫島 浩二	植野 ゆかり	主婦の友社	2003 年	2014
1	わたしのワンピース	にしまきかやこ	にしまきかやこ	こぐま社	1969 年	2012
1	オリジナル絵本					2011

上位に上がってくる絵本は名作が多く、中川李枝子・大村由里子『ぐりとぐら』やエリック・カール、林明子、なかやみわの作品がならぶ。

シリーズの中の 1 冊があがる場合も多いが、加古

さとし里子『からすのバンやさん』、なかえよしお『ねずみくんのチョコッキ』、いわむらかずお『14ひきシリーズ』も長く書き継がれて、愛読される作品で、現在もシリーズ新刊が発刊されている。

また、『100万回生きたねこ』、『葉っぱのフレディ』、



『さっちゃんのまほうのて』など感動を呼ぶ作品がある一方で、おぼさんが作ってくれたオリジナル本があげられたのは、推薦しても読んでももらえないことがわかっていても心に残る絵本を紹介したい気持ちが伝わった。

次に、出版年が比較的古い（1980年まで）の絵本についてどのようなものが推薦されているか、見てみよう。長寿を保つ絵本は、現在読んでも心が強く引かれるものが多い。

【表2】長生き絵本

初版	書名	作
1962年	いやいやえん	中川李枝子
1962年	おおきなかぶ	内田莉莎子
1963年	ぐりとぐら	中川李枝子
1964年	どろんこハリー	ジーン・ジオン
1965年	ももいろのきりん	中川李枝子
1965年	しろいうさぎとくろいうさぎ	カーズ・ウィリアムズ
1965年	ももたろう	松居直
1966年	ぐるんぱのようちえん	西内ミナミ
1966年	たこをあげるひとまねこざる	マーガレット・レイ
1967年	そらいろのたね	中川李枝子
1967年	いない いない ばあ	松谷みよ子
1968年	したきりすずめ	松谷みよ子
1969年	スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし	レオ＝レオニ 谷川俊太郎
1969年	またもりへ	マリー・ホール・エッツ
1969年	わたしのワンピース	にしまさかやこ
1970年	しろくまちゃんのほっとけーき	若山憲
1970年	いしになったかりゅうど	大塚勇三
1972年	11 ひきのねことあほうどり	馬場のぼる
1972年	くまくんのおともだち	E・H・ミナック 松岡享子
1973年	からすのパンやさん	加古 里子
1973年	しろくまちゃん ばんかいに	若山憲
1973年	なぞなぞのすきな女の子	松岡享子
1974年	ねずみくんのチョッキ	なかえよしを
1974年	おいしいのぼうけん	吉田足日 田畑精一
1974年	さむがりやのサンタ	レイモンド・ブリッグズ

1975年	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック
1976年	はらぺこあおむし	エリック・カール もり ひさし
1976年	ノントン ぶらんこのせて	キヨノサチコ
1976年	おぼけのてんぶら	せな けいこ
1977年	はじめてのおつかい	筒井頼子
1977年	すてきな3にんぐみ	トミー・アンゲラー
1978年	くじらだ！	五味太郎
1978年	こねこのルナ	神沢 利子
1979年	またまた！ ねずみくんのチョッキ	なかえよしを
1979年	きょうはなんのひ？	瀬田卓二
1979年	おこりじぞう	山口 勇子
1979年	カレーライスはこわいぞ	角野栄子
1979年	ちいさなくれよん	篠塚かをり
1979年	ねむいねむいねずみ	佐々木マキ
1979年	もしもし おかあさん	久保喬
1980年	キャベツくん	長 新太
1981年	てぶくろをかいに	新美南吉
1982年	ハバだいすきママだいすき	やすいすえこ
1983年	14 ひきのあさごはん	いわむらかずお
1983年	きたかぜとたいよう	ラ・フォンティーヌ
1983年	グリーンマントのピーマンマン	さくらともこ
1983年	ピンク ベっこん	村上康成
1984年	そらがおちる！？ どうぶつむらはおおさわぎ	リチャード・スキャリー
1984年	マグノリアおじさん	クエンティン・ブレイク 谷川俊太郎
1984年	よだかの星	宮澤賢治
1985年	さっちゃんのまほうのて	田畑精一
1985年	めっきらもっきらどおんどん	長谷川 摂子
1986年	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ
1988年	ずーっとずっとだいすきだよ	ハンスウィルヘルム 久山太市訳
1988年	14 ひきのおつきみ	いわむらかずお
1989年	こんとあき	林明子
1989年	おかえし	村山桂子
1989年	とんことり	筒井頼子
1990年	くつがじまんのむかでさん	松谷みよ子
1990年	注文の多い料理店	宮澤 賢治



『スイミー』や『おいしいのぼうけん』、『てぶくろをかいて』、『よだかの星』、『注文の多い料理店』などのように教科書に採用されることも長く読まれる要素であろう。

海外の作品では、『どろんこハリー』、『しろいうさぎとくろいうさぎ』、『ひとまねこざる』の他に、『くまくんのおともだち』、『かいじゅうたちのいるところ』のセンダックや『もりのなか』、『またもりへ』のエッツが長く愛される作家として注目される。

そこで、次に作家別に見ていくこととする。3人以上があげた作家を【表3】に挙げた。

点数は同一作家の推薦数を合計し、絵本毎に示したので「13-1」では、13が同一作家の推薦数、8が絵本毎の推薦数を示す。

【表3】好まれる作家と絵本

点数	書名	作	初版
13-8	ぐりとぐら	中川李枝子	1963年
13-2	そらいろのたね	中川李枝子	1967年
13-1	いやいやえん	中川李枝子	1962年
13-1	ももいろのきりん	中川李枝子	1965年
13-1	ぐりとぐらのにつき	中川李枝子	2003年
9-3	くれよんのくろくん	なかやみわ	2001年
9-2	そらめめくとめだかのこ	なかやみわ	2000年
9-2	くろくんとふしぎなともだち	なかやみわ	2004年
9-1	そらめめくんのベッド	なかやみわ	1999年
9-1	そらめめくんのほくのいちにち	なかやみわ	2006年
8-7	はらぺこあおむし	エリック・カール もり ひさし訳	1976年
8-1	ゆめのゆき	Eカール あおきひさこ	2002年
7-6	はじめてのおつかい	筒井頼子	1977年
7-1	とんことり	筒井頼子	1989年
5-4	100万回生きたねこ	佐野洋子	1997年
5-1	だってだってのおばあさん	佐野洋子	1998年
4	葉っぱのフレディ —いのちの旅—	Rバスカーリア みらいなな	1998年
4	さっちゃんのまほうのて	田畑精一	1985年
4-2	ともだちや	内田麟太郎	1998年
4-2	ともだちくるかな	内田麟太郎	1999年
4-2	バムとケロのおかいもの	島田ゆか	1999年
4-1	バムとケロのにちようび	島田ゆか	2008年
4-1	バムとケロのもりのこた	島田ゆか	2011年
4-2	いない いない ばあ	松谷みよ子	1967年

4-1	したきりすずめ	松谷みよ子	1968年
4-1	くつがじまんのむかでさん	松谷みよ子	1990年
3	こんとあき	林明子	1989年
3-2	ねずみくんのチョッキ	なかえよしを	1974年
3-1	またまた！ ねずみくんのチョッキ	なかえよしを	1979年
3-1	おまえうまそうだな	宮西達也	2003年
3-1	あなたをずっとずっとあいして る	宮西達也	2006年
3-1	ほくにもそのあいをください	宮西達也	2006年
3-1	たからものはひみつ	木村裕一	1995年
3-1	あらしのよるに	木村裕一	2005年
3-1	たいせつなことはみんな子ども たちが教えてくれた	木村裕一	2009年
3-1	おむすびころりん	いもとようこ	2000年
3-1	しあわせの王子	いもとようこ	2007年
3-1	かぜのでんわ	いもとようこ	2014年

宮西達也、木村裕一、いもとようこなどの2000年以降の作品が入ってきていることが注目される。また筒井頼子作品はいずれも林明子の絵とともに絵本化され、愛好されている。林明子は、『こんとあき』では文と絵どちらも制作しているが、このように画家との組み合わせも人気を左右するものであるので、次に絵の担当者について推薦数の多いもの（2人以上）をあげる。

点数は、【表3】と同様に、同一作家の推薦数を合計し、絵本毎に示したので「12-1」は、12が同一作家の推薦数、1が絵本毎の推薦数になる。

【表4】好まれる画家と絵本

点数	書名	絵	初版
12-8	ぐりとぐら	大村由里子	1963年
12-2	そらいろのたね	大村由里子	1967年
12-1	いやいやえん	大村由里子	1962年
12-1	ぐりとぐらのにつき	大村由里子	2003年
12-6	はじめてのおつかい	林明子	1977年
12-3	こんとあき	林明子	1989年
12-2	きょうはなんのひ？	林明子	1979年
12-1	とんことり	林明子	1989年
9-3	くれよんのくろくん	なかやみわ	2001年
9-2	そらめめくとめだかのこ	なかやみわ	2000年
9-2	くろくんとふしぎなともだち	なかやみわ	2004年
9-1	そらめめくんのベッド	なかやみわ	1999年





100 回泣くこと	中村航	小学館	2007 年	2013
ブルーディブック	ブラッドリー・トレバー・グリーブ 石田亨	竹書房	2000 年	2013
愛と死	武者小路実篤	新潮文庫	1952 年	2013
舞姫	森鷗外	集英社文庫	1991 年	2013
横道世之介	吉田修一	文春文庫	2012 年	2013
日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか	竹田恒泰	PHP 新書	2011 年	2013
自転車少年記	竹内真	新潮社	2006 年	2013
夜行観覧車	湊 かなえ	二葉文庫	2013 年	2013
スイッチを押すとき	山田悠介	角川書店	2008 年	2013
その時までサヨナラ	山田悠介	文芸社文庫	2012 年	2014
ぼくを探しに	シルヴァスタイン 倉橋由美子	講談社	1977 年	2014
魔女の宅急便	角野栄子	角川書店	2013 年	2014
ツナグ	辻村深月	新潮社	2012 年	2014

### (3) 今後の課題

添削した原稿は、全員が揃う講義の中で返却しているが、絶対数が少ない場合、個人へのフィードバックにしかならず、リストを配付しても学生の関心は低くなる。そのため、できるだけ多くの学生が入学前学習に取り組んでいけるよう、入学予定者への送付を余裕を持って行いたい。

図書館の展示に関しても、来館者の増加に繋げるべく、入学前学習の展示を見ることが来館目的のひとつになるよう導くことが課題となっている。

(三木麻子)

## 4. まとめ

2014年度に提出された課題文から、各分野ごとに次のようなことがとらえられた。実技3分野の各担当者による分析は、また他の機会に行う。ここでは、ブレ学習を取りまとめる立場から検討する。

音楽の課題文からは、歌詞に共感したり、過去の出来事を振り返りながら勇気づけられていることに気づき、選んだ曲と対話しながら自分の生き方を再確認している様子がうかがえた。また、泣けてくる、感動するといった感情が進るところに注目し、これまで言葉としてとらえられないような心の深いところに沈んでいた思いをくみ上げていこうとするもの

もあり、課題に取り組む過程で、情緒的な世界に視点が向けられている。

体育の課題文では、選手らが競技に向き合うスタイルから、諦めない気持ちや強い意志、チームとして思いを1つにすることの大切さなど、生き方のモデルを見つけ、さらに自分の目指す保育者像へと重ね合わせているものもあった。ある学生は選手らの姿の中に何か「大切なもの」があることに気づき、それを大事にすることが重要と考え、学生生活で自分もこの「大切なもの」を見つけたいと述べていた。「自分らしい何か」をつかむことは青年期の重要な発達課題であり、ブレ学習の課題に取り組む過程でそのような心の作業が明確にされたことは非常に興味深い。

国語の課題では、絵本について他者へ向けての紹介文を書くことが、自分の幼少期を振り返り、子どもの心をたどるという内的な作業を促すことがある。また、自分が感じたことを他者の視点で理解できるように捉え直す、すなわち自分を客観的に見つめ直すことも必要である。こういった機会を作り書くこと（意識化すること）を繰り返すことが、自分の中に、先生である私への視点、私がかかわっている子どもへの視点、その2者を客観的に捉える第3の視点、保育者、教育者にとって必要なこの視点を育てることもつながっていく。

実際に作品を前にして自分がどのように心を動かされるのか、それを体験し言葉にすることが、豊かな情緒を育て、表現力を養う。そこで、美術の課題は2013年度から美術館等へ行き生の作品を鑑賞するように内容を変更した。国語や音楽、体育に比べるとこの課題は高校生にとって非日常的で取っ付きにくいものであったかもしれない。日本の美術館は入館料が高いという現実的な要因も影響したかもしれない。2014年度はこの課題を選択した者がなかった。保育や教育の世界では、日々子どもたちとかわかり、先生自身も成長を迫られる。生のものに触れて、そこで自分がどう変化するかを捉えていく経験は、非常に大切である。まずは、課題に取り組んでもらうために、今後方法を検討していきたい。

今年度提出された課題文からは、入学後の保育者、教員を目指す学びを支え、興味をひろげるというブレ学習のねらいは個人差はあるもののほぼ実現されている。次に入学後、ブレ学習でつかんだものをさらに、一人一人の学生がどう発展させていくかは



くつかの授業に引き継がれてはいるものの、今後の検討が必要である。

(番匠明美)

(注1) 手紙文原案は片山雅男先生により作成され、その後部分的に変更した。

#### ピアスーパーバイザーからのコメント

新入学生の基礎学力低下問題に対し、入学前教育が各大学で重視されるようになる中、本稿は、この4年間の本学での入学前教育の内容と変化を振り返ることによって、その方向性と方法が少しずつ明確になり、成果を上げてきたことを明らかにした。

本学では、基礎学力の不足については入学後も継続的に補うこととし、入学前教育が「入学後の学びをスムーズに始められるように」というコンセプトで進められてきた。保育者・教育者への意識を明確化し、入学後の学びのイメージを持たせて、その後の着実な学びに結び付けようとするものである。

入学者の主体的な学びへの意欲の低下や精神的未熟さも意識され、主体性を重視し、不安の軽減も考慮されている。例えば、新入学生に文章で示す場合、強制的なイメージの強い「課題」ではなく「プログラム」という表現にする配慮がなされ、入学後に始まる教育全体の流れの一環としての入学前教育という位置づけが示されている。

今回、特に国語での分野の取り組みが明確にされた。人気別、出版年別、作家別、絵の作家別などの視点から労作された表を基に、息の長い名作や「学生の絵や作品への嗜好」など明確になり、大いに参考になる。国語のプログラム文面で示された『選ぶ』ことは、その内容を知り、他と比べ、自分で好きになること」は、学ぶ内容を与えられ続けてきた現代の学生にもっとも必要なことではないかと思われる。まとめからはこの基本の下、各分野で様々な保育・教育に必要な視点が醸成されていることが示されており、この支援体制が十分評価できるものであることが理解できる。入学後もこの精神を引き継いで学科全体で発展できるような取り組みも必要と思われた。

(担当：児童教育学科 早田 由美子)